

面接を受ける前に



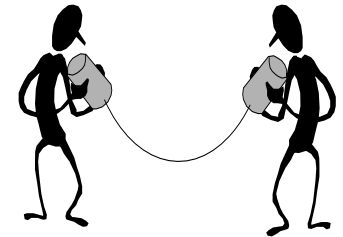
～前もって考えておくこと～

- ①「働きたいという意欲があるか」
- ②「どのような仕事ができるのか」
- ③「障害を会社に伝えるか、伝えないか」
- ④「働くうえで、どんな配慮が必要か」

※まずは、基本をおさえましょう！

配慮点について

【面接で伝えることをイメージして考えてみる】



配慮点の伝え方(例)

- ・多少疲れやすさがありますので、作業の合間に休憩をいただくと、効率的に作業がすすめられると思います。
- ・慣れるまで不安が強まるがありますが、人に話すことで解消することができます。
- ・一度にたくさんの指示があると混乱することがありますので、一つ一つ指示をいただくか、メモをいただくと確実に作業をこなすことができます。

※会社には配慮点と同時に「できること」を伝えるのがポイント

配慮点の伝え方NG(例)

- ・「病気、障害なので仕方ない」
「理解してほしい」
「休むことも仕方ない」 など

→一方的に「分かってほしい」だけでは伝わりません。

- ・必要以上に障害名、障害内容を詳細説明

→会社は「病気・障害の勉強」をしたいのではありません。

★「できること・できないこと」は何かが重要。



自己PRとは



- 会社に
「自分を知ってもらおう＝売り込む」こと
- 「これまでどんな経験をして、何ができるのか」を明確に伝える
(例：職務経歴書、自己紹介書)



自分自身を知ることから始まります

面接に必要なマナー

良いイメージづくり ～第一印象をよくする～

①外見（髪型・服装・持ち物）

②態度（座り方・目線・表情・あいさつ）

③話し方（声の大きさ・言葉づかい）



→基本的なことをおさえるだけでもよくなります。

良いイメージづくり

～第一印象をよくする～

～おなじ人の写真です。どう思いますか？～



服装・身だしなみのポイント

顔(かお)

- ×めやに
- ×こすぎる化粧

髪(かみ)

- ×ふけ
- ×ねぐせ
- ×かおがかくれる

顔(かお)

- ×めやに
- ×ひげ

服(ふく)

- ×よごれ
- ×しわ
- ×ボタンをはずす

つめ

- ×ながすぎる
- ×よごれている
- ×こいまニキュア

つめ

- ×ながすぎる
- ×よごれている

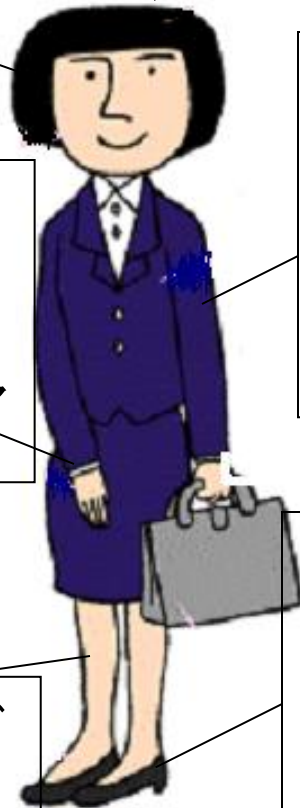
くつ

- ×よごれ
- ×サンダル
- ×ブーツ

- ×ストッキング
のでんせん

もちもの

- ハンカチ
- 履歴書
- 筆記用具



態度について(挨拶)

はじめに...

仙台太郎です。
よろしくおねがい
します。



おわったら...

ありがとうございました

態度について(座り方)

～どのように見えますか？～



- 背筋をのばす
- 相手の目を見る
- 手足をそろえる

態度について(待ち時間)



×だらったした姿勢 ×おしゃべり ×携帯電話の使用

話し方について



- 笑顔
- すぐに返事「はい」
- 「はい」「いいえ」をはっきりと
→分からない時は「分かりません」と正直に言う。
- 明るく、元気に、はっきりと
- ていねい語で、自分がわかることばで

みなさんに伝えておきたいこと

将来、希望の仕事、会社で働き続けるために

今、自分にできることから

準備をはじめましょう



ご清聴ありがとうございました。

就労支援センターは
障害のある方の就労を応援しています。

